

会報

秋

No.179

2017.10

一般社団法人北海道電業協会



道有施設の整備と取り組みなど

北海道建設部建築局建築整備課設備・環境担当課長 川 尻 康 博……………	1
会長・副会長就任ご挨拶……………	2～4

(一社)北海道電業協会会長 吉 本 浩 昌	
〃 副会長 山 口 勉	
〃 副会長 太刀川 雅 弘	
〃 副会長 鈴 木 暁 彦	

就任ご挨拶……………	5
------------	---

札幌日信電子(株)代表取締役社長 若 林 秀 博	
北海道タツヲ電気(株)代表取締役社長 木 村 賢 史	

～シリーズ～ 1 / 212だより

今も未来も住み続けたい町～音更町～

音更町長 小 野 信 次…	6～7
---------------	-----

太平洋と日本海 二つの海をもつまち～八雲町～

八雲町長 岩 村 克 詔…	8～9
---------------	-----

平成29年度 安全大会……………	10
------------------	----

平成29年度 札幌市電気設備施工研修会……………	11
--------------------------	----

技術系学校の先生との意見交換会……………	12
----------------------	----

技術系学校生徒との工事現場見学会……………	13
-----------------------	----

現場からこんにちは……………	14～15
----------------	-------

～シリーズ～ 「私のいちおし」

東光電気工事(株) 北海道支社長 菊 池 洋……………	16
-----------------------------	----

厚生委員会行事報告

ゴルフ部会……………	17
------------	----

野球部会 (ソフトボール) ……………	18～19
---------------------	-------

ボウリング部会……………	20～21
--------------	-------

理事会、三役会、委員会報告……………	22～23
--------------------	-------

事務局日誌……………	24
------------	----

編集後記



道有施設の整備と取り組みなど

北海道建設部建築局建築整備課

設備・環境担当課長 川尻 康博

(一社)北海道電業協会の皆様には、半世紀以上の長きにわたり、北海道の営繕行政の推進にご理解とご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

道発注の工事は、主なものとして札幌医科大学の施設整備が継続して行われており、また、道議会庁舎や道立旭川肢体不自由児総合療育センターの改築のほか、道営住宅におきましては、北海道新幹線開業による駅前開発に伴う住宅需要増に対応するため、新函館北斗駅前団地の整備を行うなど、平成28年度の約137億円に対して、平成29年度は約265億円の工事費を見込んでいるところです。

道有施設については、今後、老朽化が急速に進むことから、長寿命化に向けた機器の更新や機能性の向上を目的に、庁内関係部局と連携しながら施設改修も併せて進めているところであり、公共工事のより一層の品質確保に向け、発注者として、現場監理の強化や分離発注の継続、総合評価入札制度による適正な価格での発注や施工品質の確保にも努めているところです。

しかしながら、品質確保や技術力の向上においては、人材の確保、育成への対策が不可欠です。

担い手の確保、若手の育成や技術の継承への取り組みにおいて官民が連携し、人手不足対策として、作業員の労働環境の改善や若手技術者の確保の推進が円滑に進み、道内の建設業界の今後の益々の発展に繋がっていくことが期待されております。

次に、今年4月から建築物省エネルギー法が施

行され、建築物のエネルギー性能の更なる向上が求められていますが、施工現場においても設計図書に示された機器の選定などで、省エネ数値の確認が必要になるなど、今後とも貴協会の協力が欠かせないものとなっております。

建築局の執行方針の一つである「公共建築物ECO整備推進方針」においても、道有施設の整備にあたり、より一層の温室効果ガスの排出削減や再生可能エネルギーの利用促進を図ることが求められており、道民の皆様が安心して快適に過ごせる安全で環境にやさしい建物を造ることが、将来の北海道や建設業界の更なる発展につながって行くものと考えております。

さて、私が設備・環境担当課長に就任した昨年度は、本道でも台風による甚大な災害が発生し、また、全国では震度5クラス以上の地震や記録的な大雨による被害が続発し、災害時におけるライフラインの確保が非常に重要であることが再認識されたところです。

災害応急対策活動にあたっては、電力の確保が必要不可欠であり、貴協会による災害緊急対応が非常に重要となっております。

社会活動のライフラインを担っている貴協会が、今後とも行政の良きパートナーとしてその役割を十分に果たされますことを、この場を借りてお願いいたします。

最後になりますが、貴協会のますますのご発展と会員皆様のご活躍を心から祈念し、巻頭の言葉とさせていただきます。



会長就任ご挨拶

(一社)北海道電業協会 会長
(北海電気工事(株)取締役社長) 吉本 浩昌

清秋の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

先の定時総会での役員改選を経て臨時理事会におきまして、会長という大役をおおせつかりました。責任の重さにあらためて身の引き締まる思いを感じております。

さて、道内の景気が緩やかな回復基調にある中、受注活動は追い風が続いている状況かと思いますが、一方では、工事量の地域的な偏在、技術・技能労働者の高齢化と人手不足感、労務単価や資材価格等建設コストの上昇など現実にはいろいろと難しい課題を抱えております。特に、過去の公共事業政策や景気低迷の中で、会員企業では経営の縮小・緊縮を余儀なくされ、若年技能者の確保や育成、地域によっては事業者の不足や高齢化が一段と進み、喫緊の課題となっております。また、先行きをみても「働き方改革」への対応など新たに対処すべき課題が生じております。

このような中で、当協会は創立50年という節目の年を迎えました。数々の難局に対処された先人のご尽力に感謝するとともに次世代に向けてあらためて協会の意義や運営等を見つめ直す契機にしたいと考えております。業界に内在する課題、取り巻く環境の変化に機敏に、そして柔軟に対応できる今後の協会のあり方、事業のあり方について、先頃、検討に着手したところです。

電設工事業界には、社会生活や産業活動に不可欠な電気設備の構築や維持・保全、高品質で安定した電力供給に貢献するという責務があります。このことを肝に銘じ、今後とも会員相互の信頼と連携のもと、関係団体や関係機関の皆様との連携を更に深め、着実に協会の運営、諸課題に取り組んでまいりたいと考えております。会員の皆様をはじめ関係者の皆様には、変わらぬご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

新会長にインタビューいたしました！

① 趣味は～

野球と映画はよく見に行きます。

長嶋世代ですので、子供のころから野球は巨人のファンです。でもやはり日ハムは応援しています。

映画はおしゃれな映画がいいですね。最近のものではやはり「ラ・ラ・ランド」がよかったと思います。

② 座右の銘は～

「Take it easy」(“くよくよするな”)。

準備をして、やることをやって、それでもうまくいかなかったときは、くよくよしないで、また次に頑張ればいいという意味です。

しかしながら振り返ってみると、人生も仕事も失敗と後悔の思い出が数多く、早くこの座右の銘から卒業できないかと思っているのですが・・・

③ モットーは～

いつもできるだけ“自然体”でいるようにと気をつけています。

仕事の時も、いろいろな方とお会いする時も、お互いの考え方を理解しあうには、まず“自然体”で接することが大切なことではないかと思っています。



29年度役員の方々

副会長就任ご挨拶



(一社)北海道電業協会副会長

(株)山口電気機械工務所
代表取締役

山口 勉

初秋の候、会員の皆様には益々御清栄のこととお慶び申し上げます。去る5月16日に開催されました第51回通常総会におきまして常任理事副会長を仰せつかりました。皆様の御指導、御協力を賜りまして、専心努力し、その責務を果していきたいと存じますので、宜しく御願ひ申し上げます。

さて、私の趣味はスポーツではゴルフとテニスです。家に帰るとテレビ鑑賞と読書です。特技は

何もありません。座右の銘もありません。

私のモットーは会社では安全・確実・迅速・低廉の行動を実行することです。家庭では、平穩無事に暮らす事です。余程の事以外、リーダーシップは妻に一任しています。

こんな私ですが皆様の御力添えを持って協会活動に努力したいと思います。

なお、私の協会歴は平成元年に室蘭から札幌市に会社が移転してから約30年になります。平成7年に理事に就任してから今日に至っています。その間3回の(一社)日本電設工業協会会員大会を経験する事が出来ました。皆様には大変御世話になりました。これからも宜しく御願ひ申し上げます。



(一社)北海道電業協会副会長

(株)関電工
常務執行役員北海道支社長

太刀川 雅弘

今年6月に北海道電業協会の副会長に再任されました、(株)関電工 北海道支社長の太刀川 雅弘と申します。

平素より会員の皆様には大変お世話になり厚く御礼申し上げます。

まず、私のプロフィールですが、出身は新潟県小千谷(おぢや)市という所です。冬は雪深く昭和38年の豪雪の時は2階の窓から出入りしていたこと今でも覚えております。雪の降る地方で育った私は北海道と新潟は北前船の影響もあり、色々な場面で縁があると感じています。

私の好きな言葉は「初志貫徹」。そしてもう一つが「やって見せ、言っけて聞かせて、させてみせ、ほめてやる」これは新潟県長岡市出身の山本五十六の言葉です。

さて前置きが長くなりましたが、業界として昨今気になることは人材の育成、人材の確保です。電気設備工事に携わっていく次世代を担う若手を

どのように確保するか。こうした問題をバックアップすることが協会の役割であると思います。また、昨今の建築物は高度化・複雑化しており、省エネ、低炭素などの環境関連も複雑に絡み合っています。また、施工方法に目を向けると作業効率の向上・簡素化など、高度な技術が必要になってきました。

このように日々進歩する技術に追従するための自己研鑽を手助けすることも協会の大きな役割であります。

今後、道内では2026年の札幌オリンピック招致や北海道新幹線の札幌延伸など建設需要の明るい材料が沢山あります。そうした中、今お客様が求めているのは「高品質で安心・安全」な電気設備であり、その基礎となるのが我々一人ひとりの技術力であります。我々の業界は「働き方休み方改革」など諸問題が山積していますが、一つ一つ紐解いてゆくとともに、この業界に身を置く若い世代の方々が希望を持って仕事ができるよう微力ながら貢献してまいり所存であります。

最後になりますが、北海道電業協会の益々の発展と会員皆様のご健康を祈念申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。

副会長就任ご挨拶



(一社)北海道電業協会副会長
(拓北電業株)
(代表取締役社長)

鈴木 暁彦

協会会員の皆様には日頃より大変お世話になっております。

本年5月の総会で副会長のお役目を頂きました拓北電業の鈴木 暁彦でございます。

まだまだ未熟者であり、日々学んでいる途中ではありますが、協会と業界発展のため力を尽くして参りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて歴史のある北海道電業協会ですが、今年は設立50周年である節目の年を迎えます。この様に時を重ねる事が出来たのも歴代の役員の皆様のご努力と会員の皆様の支えがあったからであると思っております。

今年度、協会としてのあり方をもう一度考え、どのような活動をしていったら良いのか、ということを検討することにいたしました。

今まで行ってきた事業や歴史を大事にしながら、今の時代や状況を見据えた中で、新しい発想も含めて、取り組んで参りたいと思っております。

今、電気業界の大きな問題として、人材の不足があります。この業界を目指す若い人を増やし、それぞれの企業でしっかりと人が育っていくことが出来るように、協会として少しでも役割を果たせるように活動して参ります。

協会会員の皆様には今まで以上にお世話になることと思っておりますが、改めまして、どうぞよろしくお願い申し上げます。

協会会員の皆様には今まで以上にお世話になることと思っておりますが、改めまして、どうぞよろしくお願い申し上げます。

<趣味・特技>

映像鑑賞 (アニメなど)、カラオケ

<座右の銘>

企業は人なり。メリハリが大事

<私のモットー>

気持ちの中で「他の人とは少し違う人でありたい。」と思っております。そして、物事に取り組む時には、「折角その事に自分の時間を使うのだから、真面目に一生懸命にやりたい。」と思いきし、自分の存在を意味のあるものにしていきたいと考えて行動しています。



○開催日時

2017年10月21日 (土曜日) 10:00~16:30

○主催

「公共建築の日」及び「公共建築月間」北海道地方実行委員会・北海道開発局

○場所

札幌市東区モエレ沼公園 1-1 ガラスのピラミッド “HIDAMARI”

就任ご挨拶



札幌日信電子(株)
代表取締役社長

若林 秀博

秋冷の心地よい季節、会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこと

とお慶び申し上げます。この度、6月に宍戸 謙二の後任として代表取締役に就任いたしました若林 秀博でございます。

平素は当協会ならびに会員の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

電気工事という分野では経験不足ではございますが、会員皆様のご指導を頂きながら、当協会ならびに電気工事業界発展のため一所懸命努力いたす所存でございますので、前任者同様よろしくお願い申し上げます。

弊社は昭和45年10月に日本信号株式会社が札幌地下鉄に納入した信号保安装置および自動出改札

装置の保守業務を担当するために創立されました。その後、地下鉄とともに発展をし、地下鉄の保守部門を核として設備営業、設計、工事部門を拡大進展させてまいりました。

電気設備工事におきましては、22年程前から取り組み創め、近年では大型工事においても確実な成果を上げることができつつあります。

わが社は3年後には創業50周年を迎えます。「安全と信頼」を企業理念に掲げ、より安心・快適な社会の実現に貢献するというわが社の役割に誇りを持ちながら更に次の50年を展望した新たな事業にチャレンジすることも忘れずに、様々な新技術の修得さらなる技術の研鑽に努めて参ります。

今後とも皆様方のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。最後になりますが北海道電業協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。



北海道タツヲ電気(株)
代表取締役社長

木村 賢史

清秋の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、本年5月30日弊社株主総会に於いて、北海道タツヲ電気(株)の代表取締役社長に就任致しました木村 賢史でございます。日頃より協会並びに会員の皆様には大変お世話になり、心より厚く御礼申し上げます。

弊社は昭和25年4月に、北海道産業の発展に伴う地域の電化が進むなか、タツヲ電気札幌営業所として一般電気工事店を立上げ、以降道内の高度成長に伴う地元ニーズに応えるため組織強化と経営体制拡充を図り、昭和38年12月社名を北海道タツヲ電気(株)と改め再スタートを致しました。

爾来、北海道全域にわたり一般家庭から強電設備に至るまで、電気工事に携わる体制が整い、広く道民の皆様を支えられながら発展し、創業以来半世紀以上が経過して今日に至っております。会社としてもまだまだ至らぬ点が多々ありますが、電気設備工事業に携わる一員として、引き続き尽力して参りたいと思っております。

昨今、地域経済環境の変化が著しく先の読めないなか、微力ではありますが当協会と会員の皆様との活動を通じて、電気設備工事業界の社会的地位向上や地域の発展に貢献していく所存です。

最後になりますが、当協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、これまでと変わらぬご厚情、ご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



今も未来も住み続けたい町 ～音更町～

音更町長 小野 信次



■まちの概要

音更町は北海道の東部、十勝平野のほぼ中央に位置し、地形は、東端に南北に走る長流枝内丘陵を除いておおむね平坦で、音更川を中央に3つの河川が十勝川に注ぐ道内屈指の穀倉地帯となっており、東西に28.7km、南北に32.8km、面積が466.02km²の町です。

明治34年音更ほか2村に戸長役場が開設され、その後、2級村、1級村を経て昭和28年に町制が施行されました。昭和40年代から宅地開発が積極的に行われ、帯広市に隣接しているという地理的優位性もあり順調に人口も増え、現在北海道の町村規模では最も多くの人口を有する町となっています（平成29年3月現在、45,136人）。

本町は、広大で肥沃な大地に育まれた農業が基

幹産業で、より優れた品質と生産性の高い農業経営を目指して、土地基盤の整備や農業技術の普及向上を図っています。なかでも畑作では小麦、小豆、大豆等が作付面積、生産量ともに全国でトップクラスです。

雄大な十勝平野の中央を流れる十勝川のほとりには「十勝川温泉」があり、世界でも珍しい植物性モル温泉と大雪連峰をはるかに望む美しい自然環境に恵まれ、四季を通じて観光客が訪れます。

陸路は、町を南北に国道241号が縦貫し、市街地部を横断する北海道横断自動車道の音更帯広インターチェンジがあり、道央とのアクセスが飛躍的に向上しています。また、インターチェンジに隣接する区域に音更IC工業団地を整備し、道央圏と道東圏との物流中継地点となっています。

■作付面積日本一



音更産豆商品



小麦畑

音更町は、第一次産業の農業が基幹産業であり、恵まれた諸条件を生かし、町の全体面積の半分以上を占める約2万4千ヘクタールの広大な農地で、約700戸の農家が小麦、豆類、てん菜、馬鈴しょを基幹として、野菜、稲作、酪農及び肉用牛を中心に、大規模土地利用型農業を展開しています。

音更町の小麦は作付面積が日本一で、「うどんなどの麺用」のほか、近年は「パンやパスタ用」にも使われる小麦を栽培しています。

また、小豆も日本一の作付面積・収穫量を誇ります。収量は全国の1割を占め、有名和菓子店でも使われています。

■音更大袖振大豆

音更町の名がついた「音更大袖振大豆」は、イソフラボン含量がとても豊富で、甘くて美味しく、健康面で期待できる大豆です。

音更大袖振大豆をモチーフとして誕生したキャラクター「おおそでくん」は、この大豆の美味しさをPRしながら、「食」の大切さを町民に発信しています。



キャラクター「おおそでくん」

■十勝川温泉

十勝川温泉は、北海道遺産(平成16年11月認定)

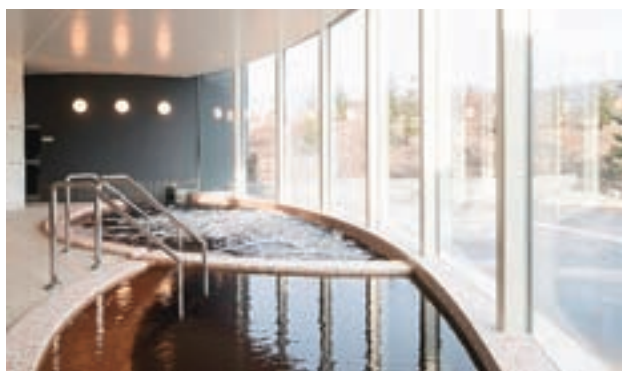


十勝川温泉ゆるキャラ「モ〜るちゃん」

「モール温泉(植物性)」が湧出する北海道を代表する温泉地であり、周囲を道立公園「十勝エコロジーパーク」や十勝川河川緑地に囲まれ、広大な十勝平野を一望できる景観など、十勝の観光を代表する地域です。

また、環境省、観光庁などが後援する温泉総選挙2016では、うる肌部門で5位(道内1位)に入賞するなど「美人の湯」として知られています。

【ガーデンスパ十勝川温泉】



ガーデンスパ「ジャグジー」

平成28年12月に新しく誕生した「ガーデンスパ十勝川温泉」。モール温泉を水着で満喫するスパや通年楽しめる足湯、食品加工体験工房など憩いの新スポットです。

【彩凜華(さいりんか)】

十勝が丘公園で毎年開催される、光と音のファンタジックショー「彩凜華」。広大な雪原を舞台に無数の光源が織りなす幻想的な空間は、感動を与えてくれます。1月下旬から1か月間開催され、期間中は多彩な催しが企画されています。





太平洋と日本海 二つの海をもつまち ～八雲町～

八雲町長 岩村 克 詔



■まちの紹介

八雲町は、人口17,095人（平成29年7月末現在）、面積956.07km²、北海道の南部、渡島半島のほぼ中央に位置しています。平成17年に旧八雲町と旧熊石町が合併し、日本で唯一の太平洋と日本海の2つの海をもつまち「二海郡八雲町」として誕生しました。

道南の比較的な温暖な地域で標高800m以上の山々が連なる渡島山地を挟み、太平洋側は、丘陵地や低地が形成され、日本海側は、海岸線近くまで山地が迫り、海蝕崖と海岸段丘が連なる中に奇岩が見られます。

また、道南北部地域の中心都市として、町村立病院として全国最大規模の地域センター病院や大型商業施設も揃うまちですが、市街地から数キロ足を伸ばすと、サケの自然産卵やそれを狙う天然記念物のオオワシ・オジロワシなどが飛来し越冬するなど、多様な自然と都市の利便性がほどよく共存するまちです。2030年度末には北海道新幹線新八雲駅（仮称）が開業する予定です。

■産業

明治初期に旧尾張藩士ら開拓の中心となった徳川農場は、当時では最先端の西洋式農法を用い開拓されました。現在では、道南を代表する酪農郷として多くの牛が飼育されており、もち米、米、軟白ねぎ、花卉、イチゴ、トマト等も生産されています。

また、林業では、徳川農場による開拓・森林経営の伝統が地域に根付き、町有林だけでも5,115haが保育管理されています。

漁業は、太平洋側と日本海側の特徴を生かした漁業が営まれており、噴火湾の太平洋側では、ホタテ養殖漁業を主体にカレイやサケ、ボタンエビ漁が盛んで、日本海に面した熊石地域では、イカやタコ、ナマコなどのほか温泉熱と海洋深層水を活用してアワビ養殖漁業が行われています。

■おすすめイベント&観光スポット

・噴火湾を一望 道立公園噴火湾パノラマパーク & 周辺おすすめスポット

道立公園噴火湾パノラマパークは、年間入込客数約67万人を超える代表スポットのひとつです。噴火湾を一望する丘には、オートキャンプ場、パークゴルフ場のほか、高速道路PAに併設されるパノラマ館にはキッズアリーナやカフェが設置されています。

・丘の駅はふるさとの味がいっぱい！丘の駅



「八雲町情報交流物産館 丘の駅」には、八雲町内だけではなく、近隣の観光情報や物産品も豊富にそろそろ、道南のアンテナショップです。道立公園噴火湾パノラマパーク内にあり、道央道八雲SAからもアクセス可能です。

食と観光の情報は「八雲町情報交流物産館 丘

の駅」へお問い合わせください！
問合せ先：丘の駅（一社）八雲観光物産協会
TEL0137-65-6100

<http://www.yakumo-okanoeki.com/station>

●北海道といえば木彫り熊 八雲が発祥の地



木彫り熊の起源は、徳川農場主である徳川義親公が1922年にスイスを旅行している際に木彫り熊を見つけ、熊狩りで毎年訪れている八雲町の農民の副業に持ち帰り、八雲の人々にすすめたのが始まりです。八雲町木彫り熊資料館では、この持ち帰ったスイスの熊や北海道木彫り熊第1号が展示されています。

●北海道三大あんどん祭り 八雲山車行列



毎年7月に開催される、夏の夜の一大イベントです。斜里町「しれとこ斜里ねぶた」、沼田町「夜高あんどん祭り」とともに北海道三大あんどん祭りとして知られ、各団体が明かりを灯した山車や踊り、演奏などのパフォーマンスをしながら町を練り歩きます。

●海と風と緑と 八雲町育成牧場



トコタンの森の上の展望台からは内浦湾や八雲市街地をのぞめます。牧場は約305haあり（東京ドーム約65個分）、酪農郷八雲町らしく雄大な大地に若牛が草を食む姿は牧歌的で散歩、ハイキングにおすすめです。

●熊石あわびの里フェスティバル



あわび養殖地である熊石地域ならではのイベント。5月、八重桜が満開となる熊石青少年旅行村にて開催され、あわびや旬のエゾバカ貝（アオヤギ）の浜焼きやあわび料理などを楽しめます。会場となる青少年旅行村は、キャンプ場のほか川遊びが楽しめる施設が充実しています。

●熊石産業まつり & やくも大漁秋味まつり & おとしべ豪海フェスタ



各地域の浜の味が集合し、生きているサケつかみ取りが子どもや大人にも大人気です。この他にも、丸ごと塩漬けにしたサケの山漬け、ホタテやホッキ、ボタンエビなど浜の母さんの味が楽しめます。熊石産業まつりは9月、やくも大漁秋味まつりは10月、おとしべ豪海フェスタは11月に開催されます。



平成29年度 安全大会



6月13日(火)北海道電気会館において平成29年度安全大会が(一社)札幌電設業協会と共催で開催されました。

本年も「組織で進める安全管理 みんなで取り組む安全活動 未来へつなげよう安全文化」をスローガンに6月1日(木)～30日(金)までを全国安全週間準備月間、7月1日(土)～7日(金)の間で全国安全週間が実施されました。

当日は、両会員企業の経営者をはじめ、現場監理技術者まで150名が参加しました。

開会の挨拶で当協会の内山 優技術安全委員会副委員長から「会員企業の皆様には、日々、災害防止活動を行っておられると思いますが、電気設備工事業を取り巻く環境は依然と厳しく、業界全体が発展していくためには、働く方々の安全・安心と労働環境の確保を図っていくことが何よりも重要であります。道内の死亡災害発生件数は建設業で30名、前年25名を上回っております。また休業4日以上死傷災害では911件、前年が992件で減少しております。死亡事故は残念ながら下回ることはできませんでしたが、労働災害全般では減

少傾向にあります。

これから夏場を迎え工事最盛期を迎えることとなりますが、さらなる安全活動への取り組みを労使一体となって確実に実践していただきますようお願いいたします。」と参加者全員に積極的な災害防止活動を訴えました。

安全講話では、札幌市都市局建築部電気設備課の高松 静知課長から、市内の平成28年度事故発生事例とその原因および再発防止対策などの紹介があり「事故が発生すると様々な責任が問われます。あらゆる可能性を想定し、十分に余裕を持って作業に臨んでほしい。」と要請されました。

引き続き、北海道警察本部交通部交通企画課安全対策係の馬場 大吾係長からは、道内の飲酒を含む交通事故の現状、従業員の交通事故と企業のリスク、などについて解説いただきました。

閉会の挨拶で、(一社)札幌電設業協会の伏木 淳安全衛生委員長から「工事に係るすべての人が、安全意識を共有し、経営者と現場が一体となってゼロ災害に取り組んでいただきたい」と力強く呼びかけました。



高松電気設備課長



馬場安全対策係長

平成29年度 札幌市電気設備施工研修会



平成29年7月20日(木)北海道電気会館において、当協会及び(一社)札幌電設業協会共催による「札幌市電気設備施工研修会」を開催し、現場責任者など約134名が参加した。今回で34回目となるこの研修会は、札幌市から担当者を招き、施工上の留意点や事前に提出していた質問・要望事項について説明を受け、今後の施工技術向上などに役立っています。

はじめに主催者を代表して(一社)札幌電設業協会の加藤 定義副会長から「電気設備工事施工における注意点等しっかり勉強して、現場の施工に役立てて頂きたい。また、札幌市において社会保険未加入対策について、今年度から対策が強化されることになっており、ペナルティ等、受けることがないようにしっかり対応願いたい」と呼びかけました。

また、札幌市都市局建築部の高松 静知電気設備課長からは「課題や改善点を共有することで、より良い成果品の提供につなげてほしいと。これから7月後半を迎え、暑い日が続いているので、熱中症にかからないよう、安全管理を徹底してもらいたい」と要請し挨拶されました。この後、講師の皆さまから電気設備工事に関する留意事項、公共工事の検査目的、仕様書の改定内容、アスベスト含有建材の事前調査等について説明いただきました。

引き続き会員から事前に寄せられた質問・要望の15項目には、電気設備課と工事監理室が分担して丁寧にご回答いただき、互いの認識共有を図りました。



ご挨拶 高松電気設備課長

最後に当協会の佐藤 友昭技術安全委員長から工事施工などの留意事項、仕様書の変更点等について講師の皆様より詳細な解説をいただいた事に対する謝意を表し、閉会挨拶といたしました。

【研修内容】

1. 札幌市発注電気設備工事に関する講話
2. 電気設備工事の工事成績、アスベスト含有建材の事前調査について
3. 電気設備工事仕様書の改定、留意事項について
4. 会員からの質問・要望事項に関する回答

【講師】

札幌市都市局建築部電気設備課

課長	高松 静知 様
電気一係長	橋本 泰 様
電気二係長	池田 政幸 様

札幌市財政局工事管理室技術管理課

電気検査担当係長	太田 潔 様
〃	佐藤 公俊 様

技術系学校の先生との意見交換会



平成29年8月9日(水)当協会および(一社)日本電設工業協会北海道支部共催による技術系学校との意見交換会を札幌グランドホテルで開催し、業界と技術系学校相互の現状認識の把握と意見、要望を聞くため毎年行っています。

今回は専門学校3校、高校8校から11名が出席し、協会からは山口副会長をはじめ5名が出席いたしました。

はじめに山口副会長から「生徒さんの受け入れ側として、見落とししていること等があれば改善していきたいので今日は忌憚のないご意見をお聞かせ願いたい。」と開会挨拶いたしました。

協会から主な事業内容を説明し、続いて道内の技術系学校を対象に毎年調査している「平成29年3月卒業生の就職状況」及び「平成29年度技術安全基礎教育講習会」の実施結果を報告。さらに、今年6月に調査した「インターンシップ実施企業調査結果」についての報告と今年度の当協会会員企業の実施計画を説明いたしました。

学校関係者から「①求人時期は7月中旬以降では生徒はすでに3者面談を終えているので、6月末までに求人の準備が必要。②生徒・保護者の意向は自宅通勤などの地元志向が強い。なお地元から出る場合はアパート・寮など福利厚生面を重要

視している。③保護者や生徒には電気工事業の内容について積極的なPRが必要。④インターンシップに関して協力いただいているが、できれば2学期の9月・10月に配慮いただきたい。⑤インターンシップや現場見学会は就職先選択に効果が大きい。」などの要望・意見が出されました。

これに対して協会からは「①電気工事業は入社後、1級電気工事施工管理の資格取得までの10年間でキャリア形成に会社・本人ともに重要。②求人票に捉われなくて、学校の先生との情報交換が必要であると感じた。③寮は最初は良いが数年経つと寮生活を嫌う人も現実的にはいる。いずれにしても優秀な学生に道内企業に入ってもらいたための努力を学校の先生と共に今後も進めていきたい。」と理解を求め意見交換会を終了いたしました。

[参加校]

北海道職業能力開発大学校、札幌科学技術専門学校、日本工学院北海道専門学校、札幌工業高校、札幌琴似工業高校、室蘭工業高校、小樽工業高校、函館工業高校、旭川工業高校、富良野緑峰高校、滝川工業高校

技術系学校生徒との工事現場見学会



平成29年8月2日(水)当協会及び(一社)日本電設工業協会北海道支部共催による札幌市内の技術系学校生徒との現場見学会を開催しました。

当日の参加者は、札幌科学技術専門学校、札幌工業高等学校、札幌琴似工業高等学校の先生、生徒18名、当協会から山口副会長他3名が参加いたしました。

今回の見学場所は、「札幌創世1.1.1区北1西1地区第一種市街地再開発事業施設建築物新築工事及び公共施設整備工事」です。

見学に先立ち「大成・岩田地崎・伊藤・岩倉・丸彦渡辺 共同企業体」の小林 伸弘設備副所長から、パワーポイントを使用し、施設建築物の事業概要、用途、工事方法等、詳しい説明の後、工事現場へ向かいました。

最初の見学エリア18階から望む札幌都心の景観とそのフロアに配線されている多くの電線の束などに生徒は驚きを感じた様子で、小林副所長の現場説明を熱心に聞いていました。

同行された先生からは、学校の授業では体験できない現場の最先端設備・技術に触れる事ができて大変勉強になりました。今後も継続していただきたい。

生徒からは、逆打ち工法や作業効率を上げる技術、安全管理が徹底されていること等の説明を聞いて、大変勉強になりましたとの感想があり大変有意義な見学会となりました。

○施設建物の概要

敷地面積：11,675.94㎡ 延べ面積：131,085.10㎡

建築面積：9,554.45㎡ 階数：地上28階、地下5階

建築物の高さ：124.25㎡

駐車／駐輪場台数 約430台／約880台

○主な用途

劇場(ホール)、図書・情報館、事務所、放送局店舗、駐車場、公共駐輪場、地域冷暖房施設など

○設計・監理

日建設計・北海道日建設計共同企業体

○施 工

大成建設・岩田地崎建設・伊藤組土建・岩倉建設丸彦渡辺建設 共同企業体

○工事竣工(予定) 平成29年度内



現場からこんにちは



【工事名称】

札幌医科大学教育研究施設 I 改築 強電設備工事
弱電設備工事
受変電設備工事

【発注者】北海道

【受注者】強電設備工事～株式会社北弘電社、
弱電設備工事～末廣屋電機株式会社
受変電設備工事～北盛電設株式会社

【工事場所】札幌市中央区南 1 条西17丁目

【工期】平成26年12月26日
～平成29年12月25日

【工事概要】

SRC造、S造

地下 1 階 地上10階建 延面積18,079.09m²

【工種】

強電設備工事：電灯設備、動力設備、発電設備

弱電設備工事：構内情報通信網設備、構内交換設備、拡声設備、映像音響設備、誘導支援設備、テレビ・時計ITV設備、自動火災報知設備、駐車場管制設備、テレビ電波障害防除設備

受変電設備工事：受変電設備、電力貯蔵設備、幹線設備、雷保護設備、接地設備、中央監視制御設備、構内配電・通信線路設備

今回取材をさせていただきましたのは、札幌医科大学教育研究施設 I 改築工事の現場です。強電設備工事を担当する(株)北弘電社 現場代理人兼監理技術者の荒井 幹夫さん、弱電設備工事を担当する末廣屋電機(株) 現場代理人兼監理技術者の曾我 俊行さん、受変電設備工事を担当する北盛電設(株) 現場代理人兼監理技術者の武田 拓充さんにお話を伺いました。

札幌医科大学の主な教育施設（教育南棟、教育北棟、東棟）は、昭和40年代前半に建設され、平成30年度までに耐用年数が到来するなど老朽化が著しいことから現在整備計画が進められております。

当該施設は、「札幌医科大学施設整備構想」に基づき、教育・研究・診療の充実と地域医療に貢献する人間性豊かな医療人を育成するための「教育機能」、高度先進医療の開発など国際的・先進的な研究を推進するための「研究機能」の充実強化を図る改築工事を行っております。

現場取材は 8 月下旬に行い、工事進捗率は強電設備工事75%程度。弱電設備工事75%程度。受変電設備工事96%程度。

強電設備工事は天井内配線や照明、配線器具等の取付作業中。

弱電設備工事は天井内配線やスピーカーの取付、

自動火災報知設備の感知器の取付作業中。
受変電設備工事は受変電設備や電灯分電盤、動力制御盤の結線工事を行い、9月下旬に予定している受電に向けて日々作業を進めておりました。

当該工事現場では、建築主体工事4社、機械設備工事4社、電気設備工事3社の総勢11社の工事会社で現場施工が行われております。3年間に及ぶ工事も繁忙期を迎え、各工事が常に輻輳しながら作業を行っており、工事業者間の作業日程調整や作業区画規制を日々行い、安全に作業を進められるよう皆さん大変苦心しておられました。

また、市街地で狭隘な敷地の為、場内への搬入口が制限されており、日々変わる現場の状況を踏まえた上で、自社の資材搬入計画と他工事の資材

搬入計画を照らし合わせ、工程調整会議を行ったり、交通誘導員の配置を検討するなどして周辺道路や近隣住民にご迷惑をかけぬよう作業を進めているとのことでした。

最後にこれからますます忙しくなりますが、無事故・無災害で施設が完成することを祈願し、この新しい施設が医療教育や教養教育における両学部共通講義・実習など、時代の変化やニーズに応じた質の高い教育環境を確保するとともに、学生が自主的に勉学に励み、福利厚生機能やメンタルケアの充実を図ることができるすばらしい施設となることを心待ちにしております。

取材 広報委員 鈴木 高典、大塚 雅史



(左) 曾我さん (末廣屋電機株) (中) 武田さん (北盛電設株)
(右) 荒井さん (株北弘電社)

～シリーズ～ 「私のいちおし」

東光電気工事(株) 北海道支社
支社長 菊池 洋

今回は「手作り創作 ゆるり家」さんをご紹介します。



こちらは、すすきの駅から徒歩数分の第11グリーンビル7階で、ひっそりと営業しているお店です。まだ開店して4年目と歴史は浅いですが、道産食材にこだわったメニューを提供されており、週末になると予約必須となるほどの知る人ぞ知る人気店なのです。

お店で迎えてくれるのは、佐古さんご夫婦とそのご子息、ご息女達。そう、ご家族で経営されているのです。決して広い店内ではありませんが、佐古さん御一家のおもてなしで、まるで自宅に帰ってきたかのような居心地の良さが感じられます。

そんなゆるり家さんでは、数々の創作料理を提供しておりますが、その中からいくつかおススメのメニューを紹介致します。

まずは「豚キムチの天ぷら」です。初めてメニューを見た時に「豚キムチを揚げるのか？」と驚きましたが、食べてみると想像以上にあっさり



豚キムチの天ぷら

していて、サクッとした薄手の衣に包まれた豚キムチの旨みでビールが止まりません。ゆるり家さんの揚げ物は全体的に衣が薄手となっており、脂っこい料理が苦手な人で

も安心です。

続いてのおススメは「豆腐ボール」です。一見するとたこ焼きのようですが、その正体はヘルシーな豆腐のお団子です。目を閉じて食べたなら、たこ焼きを食べたと勘違いしてしまう味わい



豆腐ボール

その他、週替わり・月替わりメニューも豊富で、行く度に新しい味に出会えます。ご主人が厳選した日本酒も多数揃えており、タイミングによっては希少なお酒に出会えるかもしれません。

-halfサイズにできるメニューもありますので、1人でも気軽に立ち寄れるお店です。

皆様もゆるり家さんでほっと一息、癒しの時間を過ごされてはいかがでしょうか。

店名：手作り創作 ゆるり家

住所：札幌市中央区南5条西3丁目1-4
第11グリーンビル7階

電話：050-5890-8171

営業時間：18時00分～23時00分

(金・土は24時00分まで)

定休日：日曜・祝日



店主ご夫婦と私(中)

厚生委員会行事報告

平成29年度 第2回・第3回ゴルフ部会コンペ成績



第2回優勝者の栗原さん（左） 山口副会長（右）



豊厚生副委員長（左） 第3回優勝者の住本さん（右）

第2回 ゴルフ大会 平成29年6月21日(水) 札幌南ゴルフクラブ 参加者28名

順位	氏名	会社名	イン	アウト	GROSS	HC	NET
優勝	栗原 健治	浅海電気	45	40	85	14	71
準優勝	小林 勇治	三共電気	53	45	98	26	72
3位	橋本 佳明	橋本電気	51	47	98	24	74
4位	吉田 岳夫	北海電工	46	42	88	12	76
5位	住本 邦裕	道タツヲ電気	46	40	86	9	77
6位	三好 裕一	札幌機電	46	42	88	11	77
7位	田口 朋宏	道ジーエス・ユアサ	54	46	100	22	78
8位	中鉢 征	三共電気	51	52	103	25	78
9位	矢田 彰	北弘電社	42	48	90	11	79
10位	吉山 陽市	道ジーエス・ユアサ	50	44	94	15	79

(特別賞)

B	G	栗原 健治	浅海電気
平	和	賞 豊 友祐	北札幌電設
大	波	賞 山上 幸夫	振興電気
小	波	賞 中鉢 征	三共電気
B	B	賞 山口 勉	山口電気
ラッキー	賞	中田 徹三	旭日電気
N	P	栗原 健治	浅海電気
N	P	三好 裕一	札幌機電
N	P	桜庭 謙次	北電力設備
N	P	池田 秀己	北弘電社
N	P	佐久間 忠信	北明電気
N	P	中田 徹三	旭日電気
N	P	木村 賢史	道タツヲ電気

第3回 ゴルフ大会 平成29年7月20日(木) 札幌エルムカントリークラブ 参加者25名

順位	氏名	会社名	イン	アウト	GROSS	HC	NET
優勝	住本 邦裕	道タツヲ電気	39	40	79	9	70
準優勝	菊地 大	橋本電気	43	37	80	9	71
3位	佐藤 信悦	旭日電気	43	45	88	16	72
4位	木村 賢史	道タツヲ電気	44	45	89	16	73
5位	吉田 岳夫	北海電工	44	42	86	12	74
6位	吉山 陽市	道ジーエス・ユアサ	44	45	89	15	74
7位	田口 朋宏	道ジーエス・ユアサ	48	49	97	22	75
8位	渡辺 修	三新	45	54	99	24	75
9位	松原 一朗	北明電気	40	43	83	7	76
10位	小野寺涼一	大成電気	46	42	88	12	76

(特別賞)

B	G	住本 邦裕	道タツヲ電気
平	和	賞 中鉢 征	三共電気
大	波	賞 山上 幸夫	振興電気
小	波	賞 鈴木 嵩典	浅海電気
B	B	賞 室野 正至	富士電機
ラッキー	賞	桜庭 謙次	北電力設備
N	P	住本 邦裕	道タツヲ電気
N	P × 2	菊地 大	橋本電気
N	P	松原 一朗	北明電気
N	P	桜庭 謙次	北電力設備
N	P	池田 秀己	北弘電社
N	P × 2	荒川 正一	札幌日信電子

平成29年度 野球部会活動報告



会員の皆様、日頃より野球部会の活動にご協力をいただきましてありがとうございます。

毎年恒例の会社対抗ソフトボール大会も29回目を迎え、本年度は6月29日(木)「美香保公園野球場A球場」において開催致しました。

今大会の参加チームは北弘電社、北海電気工事、北電力設備工事、ドウデン、JVチームの計5チームの参加となりました。

今年も昨年同様屋外での開催となりましたが、6月開催との事もあり、スポーツには最適な気候の中で各チームとも白熱した真剣勝負が繰り広げられました。

結果につきましては、安定感抜群のチームワークを発揮した「北弘電社」が優勝し見事10連覇を達成しました。2位は強力な打撃で決勝まで勝ち

進んだ「ドウデン」、3位「JVチーム」、4位「北海電気工事」、5位「北電力設備工事」となりました。

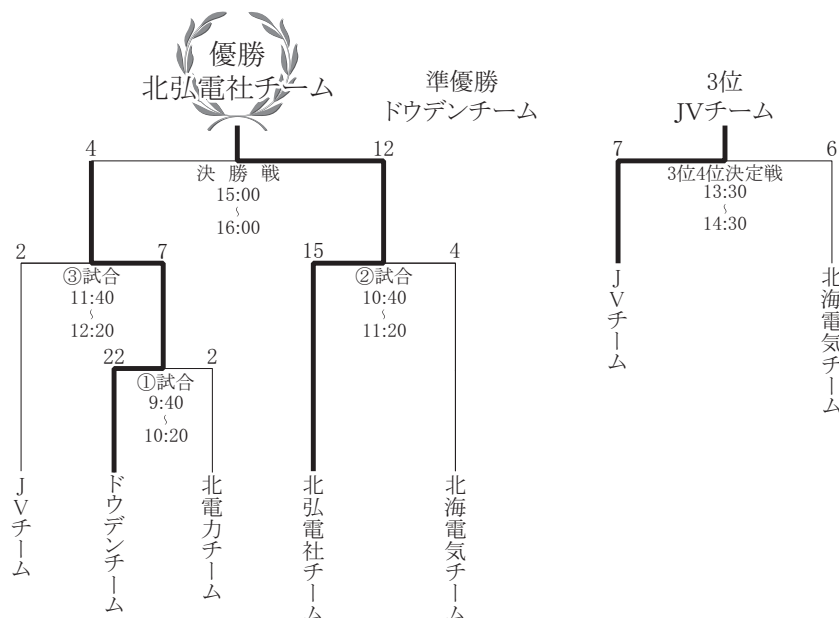
ご多忙の中、本大会にご参加いただきました全チームの皆様、大変お疲れ様でした。

来年度におきましても、今年度参加頂いたチームを含め、1名でも1社でも多くご参加いただき、今大会以上に盛り上がることを期待しております。

最後に、今大会も皆様のご協力により大きなケガもなく無事終えることができました事に、幹事一同深く感謝致します。ご協力誠にありがとうございました。

野球部会幹事 (株北弘電社) 嶋田 幸規 記

成績表



10連覇達成

6月29日(木)「美香保公園野球場」にて北海道電業協会ソフトボール大会が、5チーム参加のトーナメント方式により試合が開催されました。開催する会場名を聞いた瞬間、昨年も同会場で30℃近い炎天下の中、開催された記憶が蘇り「今年も屋外かぁ…」と体力的・気力的にも不安な気持ちで当日を迎えましたが、当日は日差しは強かったですが気温は24℃前後と絶好の運動日和での開催でした。

我が北弘電社チームの特徴を紹介致します。メンバーは毎年ほぼ固定しており、毎年そこに若い新人をテスト形式?で1~2名加入。その結果により翌年以降も採用するといった、年々チーム力を底上げさせていくチームです。

そのような長年の努力により作り上げられたチームであり、今年なんと10連覇を達成する事ができました。10連覇ということは「10年連続」で優勝…。どんなスポーツ競技でも連続して10年勝ち続けるというのは、例え規格外の大型新人を

補強し強いチームを作ったとしても「10年連続」というのは想像し堅い長い道のりで奇跡のようなものです。

しかし不思議なもので10連覇達成という偉業を成し遂げた直後は感極まる感動のようなものは無く、それに変わる「安堵感」がありました。10連覇しなければというプレッシャーからの開放が強かったかもしれません。

私自身、当然のように出来たプレーも出来なくなる年齢の恐ろしさを年々感じてはおりますが、来年以降もチームに呼ばれ貢献できるよう身体作りをしながら過ごしていこうと思っております。

今年は大大会全体を通して、大きなケガ人も無く楽しく無事終える事ができました。これも電業協会の皆様をはじめ、参加した皆様のご協力のお陰であります。関係各所の皆様、本当にありがとうございました。

(株)北弘電社 友重 陽介 記



優勝 北弘電社チーム



平成29年度 第1回・第2回開催ボウリング部会報告



平成29年度第1回目は6月16日(金)、第2回目は8月18日(金)にボウリング部会が開催されました。参加人数は1回目が21名、2回目は18名とやや寂しい参加人数となっております。

1回目の優勝は久々の復帰を飾った協信電気工業(株)の尾形さん、2回目はいつも元気に部会の雰囲気盛り上げてくれる北海道タツマ電気(株)の水谷さんが優勝しております。



第1回優勝の尾形さん(左) 藤井部会長(右)

参加者を見渡しなが、以前に豊平川沿いのオリンピックボウルで開催されていたことを知る人は、嶋津さん(島津電設)と小林さん(三共電気工業)以外いなくなってしまったな…と、二十数年前から参加している私は、少々感慨深い心持ちで部会運営のお手伝いをさせていただきました。

今は諸官庁の入札も電子対応となり、営業マンが日々苦い思いをしながら働いている姿を見かけることも少ない時代となりました。私が若い頃は、同業他社の先輩に顔を覚えてもらい構っても

らうことも修行の一つでしたから、このボウリング部会も非常に重要な修行の場でした。今となつては、若い人が他社の先輩に顔を覚えてもらうことにさほどの意義を見出せない時代となってしまいましたが、年齢を重ねたときに営業に携わる者が重要となる事の一つが、横の繋がり(人脈)を持つ事であると実感するようになりました。

ボウリング部会は、労せずして横の繋がり(人脈)を作ってくれるとても貴重な場所です。会員企業の幹部の皆さん!是非、若い方を積極的に出席させてください。きっと将来活躍してくれる下地づくりになりますよ。

なお、今年度最後になる次回ボウリング部会は10月27日(金)に開催されます。

何卒多数の方々の出席をよろしく願いいたします。

ボウリング部会幹事 福田 哲也(大成電気(株))



嶋津厚生委員長(左) 第2回優勝の水谷さん(右)

平成29年度

第1回 北海道電業協会ボウリング大会順位表

開催日：平成29年6月16日(金)

順位	氏名	1G	2G	ハンデ	合計	会社名
優勝	尾形 武志	160	185	6	357	協信電気工業(株)
準	稲津 亘	153	199	0	352	北盛電設(株)
1	菅井 末行	182	133	11	337	旭日電気工業(株)
2	若宮 昇平	162	170	0	332	拓北電業(株)
3	嶋田 幸規	147	150	9	315	(株)北弘電社
4	森崎 享一	124	179	4	311	北盛電設(株)
5	藤井 大樹	119	141	25	310	(株)でんこう
6	向平 義美	107	198	0	305	(株)北弘電社
7	福田 哲也	163	96	18	295	大成電気(株)
8	友重 陽介	143	131	7	288	(株)北弘電社
9	鈴木 周平	122	93	30	275	北電力設備工事(株)
10	吉岡 秀雄	123	117	16	272	弘和電気(株)
ハイゲーム賞				稲津 亘	北盛電設(株)	
飛び賞(10位)				吉岡 秀雄	弘和電気(株)	
飛び賞(15位)				三上 哲哉	北電力設備工事(株)	
ブービー賞				畑 千寿代	北盛電設(株)	
ブービーメーカー賞				三好 裕一	(株)札幌機電工業所	

平成29年度

第2回 北海道電業協会ボウリング大会順位表

開催日：平成29年8月18日(金)

順位	氏名	1G	2G	ハンデ	合計	会社名
優勝	水谷 吉男	120	139	30	319	北海道タツワ電気(株)
準	福田 哲也	165	117	16	314	大成電気(株)
1	新名 久弥	114	140	29	312	(株)ドウデン
2	鈴木 周平	102	150	30	312	北電力設備工事(株)
3	藤井 大樹	145	102	24	295	(株)でんこう
4	嶋津 博	131	103	28	290	島津電設(株)
5	尾形 武志	156	133	0	289	協信電気工業(株)
6	三上 哲哉	127	114	23	287	北電力設備工事(株)
7	三好 裕一	143	123	10	286	(株)札幌機電工業所
8	小林 勇治	130	135	10	285	三共電気工業(株)
9	坂本 淳	124	101	30	285	北海道タツワ電気(株)
10	鈴木 雅博	145	134	1	281	振興電気(株)
ハイゲーム賞				福田 哲也	大成電気(株)	
飛び賞(5位)				尾形 武志	協信電気工業(株)	
飛び賞(10位)				鈴木 雅博	振興電気(株)	
ブービー賞				細野 隆平	橋本電気工事(株)	
ブービーメーカー賞				本間 美則	拓北電業(株)	
ラッキー賞(8位)				小林 勇治	三共電気工業(株)	



理事会・委員会報告

|| 理 事 会

◇平成29年8月24日(木) 12:00~14:30

第3回議題

【協議事項】

1. 平成29年度「電気・空衛連絡協議会」の活動に係る関係官庁調整状況について
2. 平成29年度 経営者懇談会・セミナーの開催要領について
3. 平成29年度「公共建築の日」フェスティバル inモエレ記念イベント事業への参加について
以上提案どおり承認された。

【報告事項】

1. 電設協理事補欠選任の候補者推薦等について
2. 平成29年度北海道開発局幹部と建専連との意見交換会（結果）について
3. 平成29年度 電気設備施設見学会の開催について
4. 技術系学校の先生との意見交換会の開催結果について
5. 技術系学校の学生の工事現場見学会の実施結果について
6. 道電気資材卸業協同組合からの「働き方改革」に係るお願いについて
7. 「第54回全国建設業労働災害防止大会」の参加勸奨について
8. 北海道赤レンガ建築賞30周年記念アートコンテストの実施について
(以下省略)
以上、概要を報告（宇野専務理事）
(理事会終了後)
第1回 協会事業のあり方検討会

|| 三 役 会

◇平成29年7月11日(火) 12:00~13:30

第4回議題

1. 平成29年度「電気・空衛連絡協議会」の活動に係る関係官庁調整状況について
2. 技術系学校の学生の工事現場見学会の実施結果について
3. 技術系学校の先生との意見交換会の開催結果について
4. 北海道建築士会 全道大会（式典・基調講演・懇親会）のご案内について
5. 平成28年度「公共建築の日」及び「公共建築月間」の記念行事における後援名義の使用について
6. 第36回 北海道電気安全大会の開催について
7. 当協会 平成29年度主要実施事業の現状について
8. 当協会の「事業のあり方検討」に係る会員調査の内容について
9. 現場監理社員の労働条件等に関する会員調査について
10. 平成29年7~8月行事予定について
(以下省略)

◇平成29年8月1日(火) 11:30~13:00

第5回議題

1. 平成29年度「電気・空衛連絡協議会」の活動に係る関係官庁調整状況について
2. 当協会の「事業のあり方検討」に係る会員調査の内容について
3. 現場監理社員の労働条件等に関する会員調査について
4. 平成29年度「公共建築の日」記念イベント事業への参加について
5. 平成29年度 北海道開発局幹部と建専連との

意見交換会（結果）

6. 平成29年度「札幌市電気設備施工研修会」の開催結果について
7. 道電気資材卸業協同組合からの「働き方改革」に係るお願いについて
8. 会員代表者の変更について
（以下省略）

◇平成29年9月12日(火) 12:00~13:30

第6回議題

1. シーケンス基礎【実技】講習会の実施について
2. 平成29年度 電気設備施設見学会の開催について
3. 平成29年度工事追込期における建設産業交通事故防止総ぐるみ運動」の実施及び「第38回建設産業交通安全全道大会」の開催について
4. 当協会 創立50周年記念事業について（中間報告）
5. 電設協 「働き方改革実現に向けて」の要望活動の状況について
6. 「北海道の建築工事に係る合同研修会」での設備工事業4団体の要望事項（案）について
7. 現場管理社員の労働条件等に関する会員調査について（再度）
8. 平成29年9~10月行事予定について
9. 会員の諸変更について
10. その他意見交換

総務委員会

◇平成29年8月21日(月) 12:00~13:00

第2回議題

1. 平成29年度「電気・空衛連絡協議会」の活動に係る関係官庁との調整状況について
2. 平成29年度 技術系学校の先生との意見交換会の開催結果について
3. 技術系学校の学生の工事現場見学会の実施結果について
4. 平成29年度 北海道開発局幹部と建専連との意見交換会（結果）

5. 道電気資材卸業協同組合からの「働き方改革」に係るお願いについて
6. 平成29年度 経営者懇談会・セミナーの開催要領について
7. 当協会50周年記念祝賀会について
8. その他意見交換

経営委員会

◇平成29年8月8日(火) 12:00~13:00

第2回議題

1. 電設協 第273回政策委員会の開催概要について
2. 28年度分離発注要請活動集約結果について
3. 電気通信事業（開発局）に関する意見交換会について
4. 平成29年「電気・空衛連絡協議会」の活動に係る関係官庁との調整状況について
5. 平成29年度 経営者セミナー開催について
6. 連絡事項、その他意見交換について

◇平成29年9月19日(火) 12:00~13:00

第3回議題

1. 電設協 第274回政策委員会の開催概要について
2. 平成29年度 経営者懇談会・セミナー開催概要について
3. 電気通信事業（開発局）に関する意見交換会報告について
4. 平成29年度「建設産業ふれあい展」について
5. 平成29年度分離発注要請活動について
6. 連絡事項、その他意見交換について

広報委員会

◇平成29年9月12日(火) 15:00~17:00

第2回議題

1. 会報「冬号」の編集方針（案）について
2. 会報「秋号」の校正について
3. 第7回 記念誌編纂委員会
4. その他意見交換

事務局日誌

- 7月7日(金)・建専連と北海道開発局幹部との意見交換会
(札幌第一ホテル) 宇野専務
- 10日(月)・札幌市業会団体定時総会
(ニューオータニイン札幌) 宇野専務
- 11日(火)・第4回 三役会議
・本部第273回政策委員会
(東京) 笠島経営副委員長
- 18日(火)・ゴルフ部会
・総務委員会
- 19日(水)・本部常任理事会
(東京) 吉本支部長代行
・記念誌編纂委員会
- 20日(木)・第3回ゴルフコンペ(札幌エルム)
・札幌市電気設備施工研修会
(北海道電気会館)
- 25日(火)・本部・支部事務連絡会議
(東京) 宇野事務局長
- 27日(木)・北海道電気安全大会
(共済ホール) 宇野専務
- 31日(月)・役員懇談会 (北2条クラブ)
- 8月1日(火)・第5回 三役会議
- 2日(水)・技術系学校の生徒との工事現場見学会
- 8日(火)・第2回経営委員会
・北海道開発局事業振興部との意見交換会 (北2条クラブ)
- 9日(水)・技術系学校の先生との意見交換会
(札幌グランドホテル)
- 18日(金)・第2回ボウリング部会(ノルベサ)
- 21日(月)・第2回総務委員会
- 22日(火)・記念誌編纂委員会
- 24日(木)・第3回理事会・常議員会
- 25日(金)・第2回歌唱部会 (ちゃ茶)
- 9月4日(月)・札幌市業界団体連絡協議会
(経済センター) 宇野専務
・本部第343回運営委員会
(東京) 吉本支部長代行
- 5日(火)・「公共建築の日」スタッフ会議
(合同庁舎) 宇野専務
- 6日(水)・1級電気工事施工管理実地受験講習会
(北海道建設会館) 類家事務局長
- 8日(金)・営業マンソフトボール大会
(リゾート札幌)
- 12日(火)・シーケンス基礎実技講習会
・第6回三役会議
・第2回広報委員会
・本部第268回政策委員会
(東京) 笠島経営副委員長
- 13日(水)・労働衛生週間説明会
(北海道建設会館) 宇野専務
- 14日(木)・本部第344回運営委員会
・本部理事会(東京) 吉本支部長代行
- 19日(火)・第3回経営委員会
・ゴルフ部会
- 21日(木)・第4回ゴルフコンペ(札幌芙蓉CC)
- 26日(火)・建設産業交通安全大会
(ホテル札幌ガーデンパレス)
宇野専務他
- 29日(金)・北海道の建築工事に係る合同研修会
(建設会館)

編集後記

暑かった夏も過ぎ去り、秋の冷涼な空気が心地良く感じられる季節になりました。

この度は、会報「秋号」の発刊にあたり、北海道建設部建築局建築整備課の川尻 康博設備・環境担当課長様に、巻頭言として「道有施設の整備と取り組みなど」と題して寄稿いただき、心より御礼申し上げます。

北海道として、長年望まれてきた道議会庁舎の建て替えによいよ着手されることに加え、老朽化の進む多くの道有施設の整備について、長寿命化に向けた機器の更新や機能性の向上も進められるとのことで、私ども業界としても、一層の技術・品質の向上に真摯に取り組んで行かねばと思うところであります。

さて、1868年に松浦 武四郎が蝦夷地を「北海道」と名付けてから、来年在「150周年」の節目となります。新たな時代の北海道の経済発展のためには、官民がより一層連携を取って諸事を進めて行くことが肝要と思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

また、(一社)北海道電業協会も本年設立50周年を迎えますので、吉本 浩昌新会長のもと、会員が一丸となって新たな時代の業界づくりに努めて行ければと思うところであります。

最後になりましたが、本誌におきまして、平成23年冬号の新春特集記事へのご協力や、平成27年夏号までシリーズ化した「ビジネスマンはこれを読め！」で多くの書籍をご紹介いただいた久住 邦晴さん（元(株)久住書房 代表取締役）が、去る8月28日にご逝去されました。（享年66歳）

謹んで、ご冥福をお祈りいたします。

広報副委員長 伏木 淳



発行 平成29年10月
一般社団法人 北海道電業協会
札幌市中央区北1条東3丁目1-1
北電興業ビル4階
TEL (011)271-2932
FAX (011)271-2952
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp